

◆ 九頭竜川水系 足羽川ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第9回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

点検票No. (資料ページ)	記 載 事 項		点 検 方 法	参 考 指 標	整備計画本文との対応		
	項 目	内 容			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
No. 01 (P3~6)	5.1 河川工事の目的、 種類及び施行の場所など	(1) 足羽川	足羽川の河川整備 ・ 福井市大瀬町地先～板垣地先までの約6,000m区間 ・ 福井市脇三ヶ町地先～小宇坂島地先までの約15,900m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16	P20~22
No. 02 (P7~8)		(2) 荒川	荒川の河川整備 ・ 福井市東今泉町地先～永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) [河川改修] =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100 整備進捗率(%) [遊水地] =施工済箇所数(箇所)÷計画箇所数(箇所)×100	P16	P23~24
No. 03 (P9~10)		(3) 一乗谷川	一乗谷川の河川整備 ・ 福井市安波賀町地先(足羽川合流点)～城戸内町地先までの約900m区間 ・ 福井市西新町地先～浄教寺町地先までの約2,300m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16	P25~26
No. 04 (P11~12)		(4) 三万谷川	三万谷川の河川整備 ・ 福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流～三万谷町地先)までの約1,200m区間	① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認	整備進捗率(%) =施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P16	P27~28
No. 05 (P13~15)	5.2.2.1 洪水等による災害の 発生防止又は軽減 に関する維持管理	(1) 河川管理施設の維持管理	① 河川管理施設の巡視 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検	実施状況の確認	—	P16~17	P29
No. 06 (P16)		(2) 河道の維持管理	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導	実施状況の確認	—	P16~17	P29
No. 07 (P17~18)		(3) 防災機能の充実	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	実施状況の確認	—	P16~17	P29~30
No. 08 (P19)	5.2.2.2 河川の適正な利用及び 流水の正常な機能の維持 に関する維持管理	(1) 水量の管理	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 湯水対応	実施状況の確認	—	P17	P30
No. 09 (P20)		(2) 許可工作物の設置等への対応	④ 占用工作物の監督	実施状況の確認	—	P17	P30
No. 10 (P21~33)	5.2.2.3 河川環境の整備と 保全に関する維持管理	(1) 水質の監視	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	実施状況の確認	—	P17	P30
No. 11 (P34)		(2) 河川環境の保全	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策 ③ その他(動植物の生息・生育環境の維持・保全)	実施状況、調査結果の確認 生物調査結果の確認	—	P17	P31
No. 12 (P35)		(3) 河川空間の適切な利用	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や 河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	利用状況、実施状況の確認	—	P17	P31
No. 12 (P35)	5.3.1	地域住民との協働	① 住民参加による河川美化活動	実施状況の確認	—	P17	P32

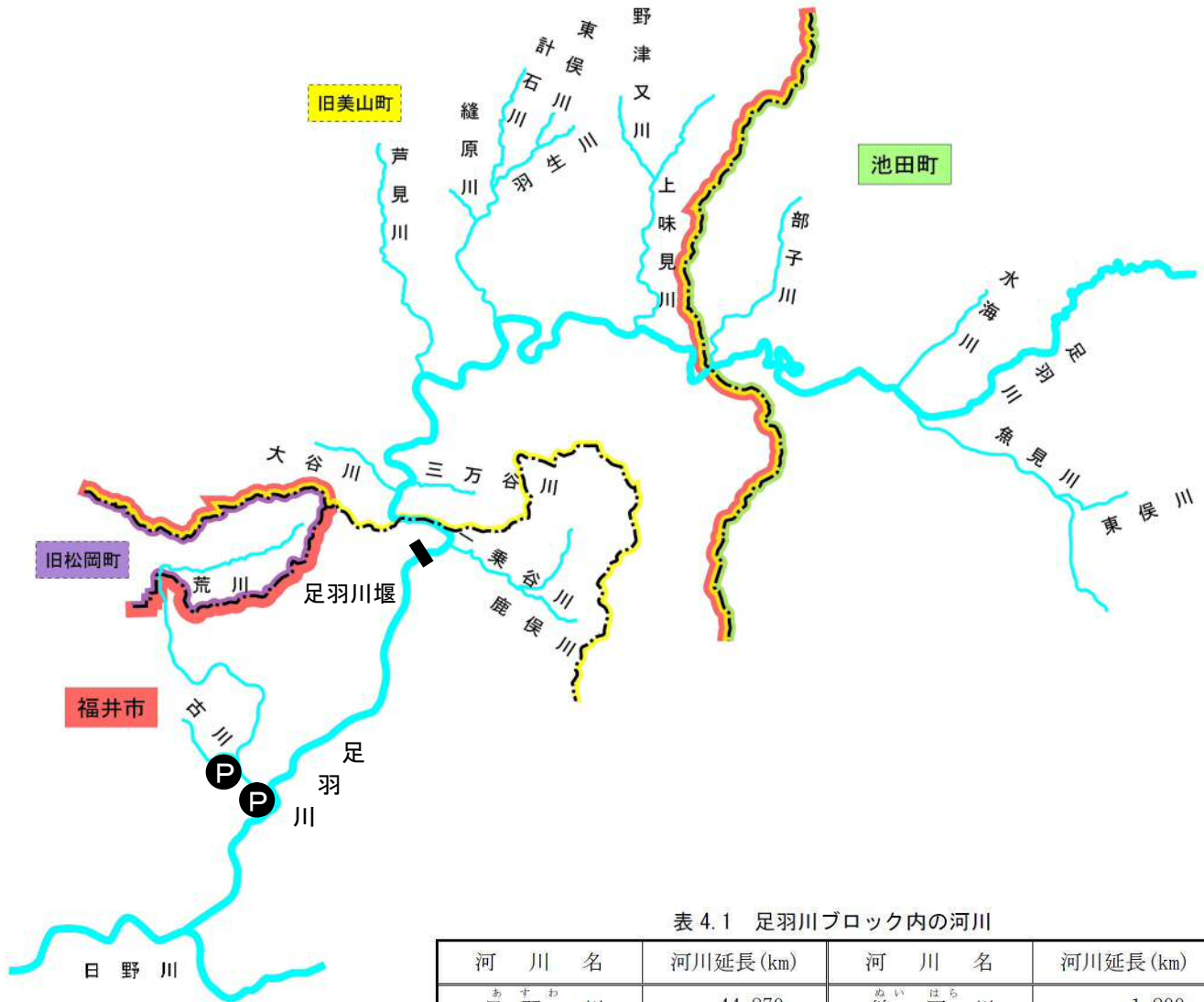


表 4.1 足羽川ブロック内の河川

河川名	河川延長(km)	河川名	河川延長(km)
足羽川	44.870	縫原川	1.800
荒川	14.000	計石川	3.500
古川	3.000	東俣川(福井市)	2.300
一乗谷川	6.500	上味見川	7.350
鹿俣川	2.400	野津又川	3.000
大谷川	3.200	部子川	3.720
三万谷川	2.200	水海川	3.490
芦見川	8.500	魚見川	10.580
羽生川	7.180	東俣川(池田町)	2.180



図 1.2 九頭竜川水系のブロック分割

河川整備計画 進捗点検	No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P20~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川		
	内容	足羽川の河川整備 (福井市大瀬町地先～板垣地先までの約6,000m区間)		
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

平成17年度～平成21年度

【指標】

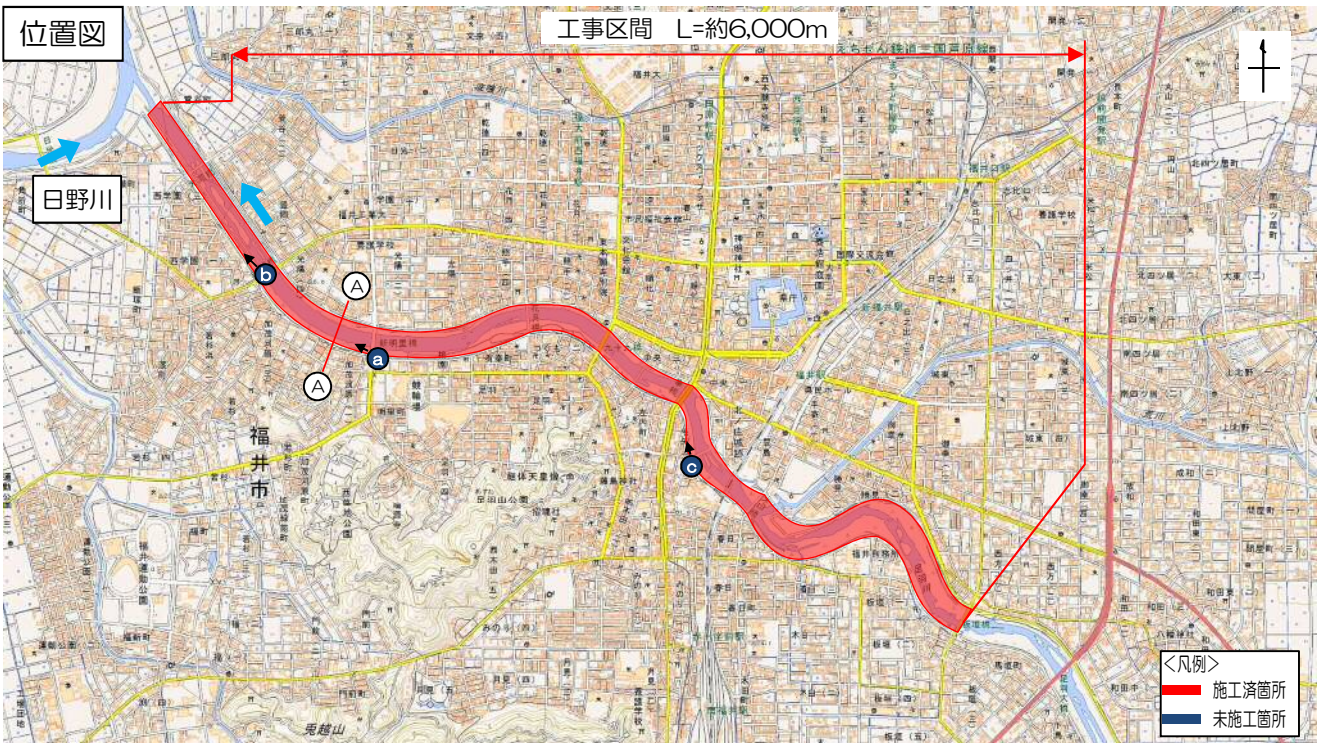
整備進捗率 (%)

$$= 6,000(m) \div 6,000(m) \times 100$$

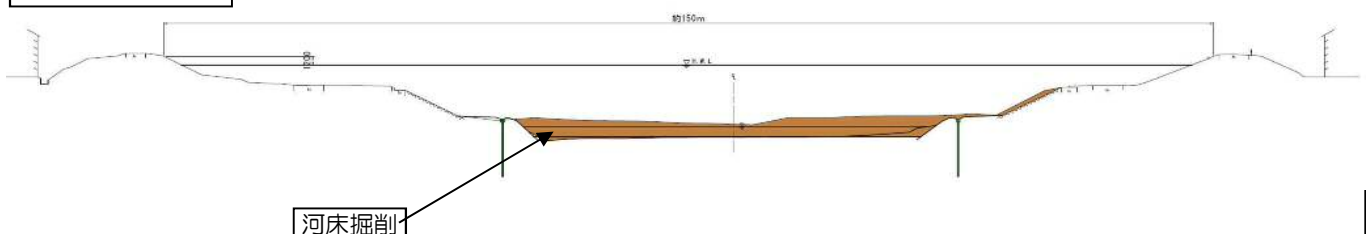
$$= 100 \%$$



平成28年11月撮影



A-A 横断面図



河川整備計画 進捗点検	No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P20~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川		
	内容	足羽川の河川整備 (福井市大瀬町地先~板垣地先までの約6,000m区間)		
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

② 整備時の配慮事項

- ・ 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により、河川改修工事の早期完了を図った。
- ・ 治水工事に合わせて、みお筋やワンド、桜並木の整備等、河川環境の保全に関する工事を行った。

b 水越橋下流



c 泉橋下流 左岸堤防



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市大瀬町～板垣	—		
	H18 年度	H21 年度	H28 年度
		H38 年度	H48 年度

点検結果の考察

- ・ 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P20~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川			
	内容	足羽川の河川整備 (福井市脇三ヶ町地先~小宇坂島地先までの約15,900m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

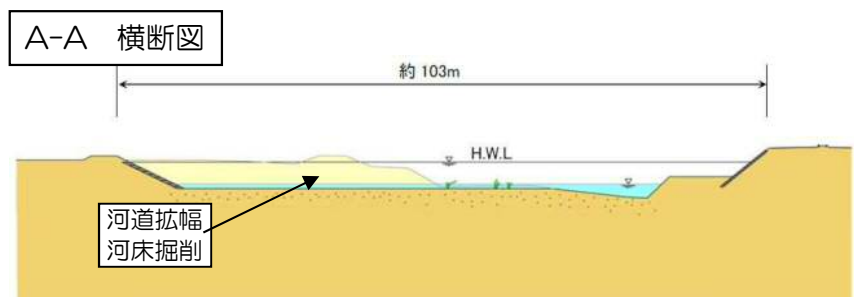
平成17年度~平成21年度

【指標】

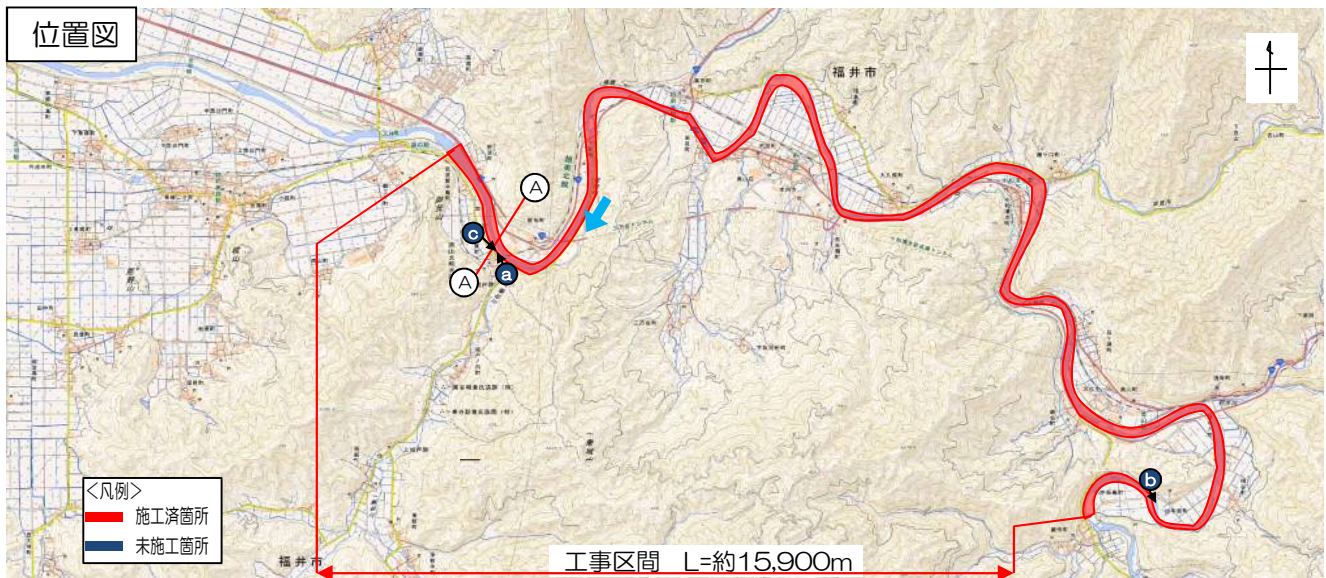
整備進捗率 (%)

$$= 15,900(m) \div 15,900(m) \times 100$$

$$= 100 \%$$



位置図



a 福井市脇三ヶ町



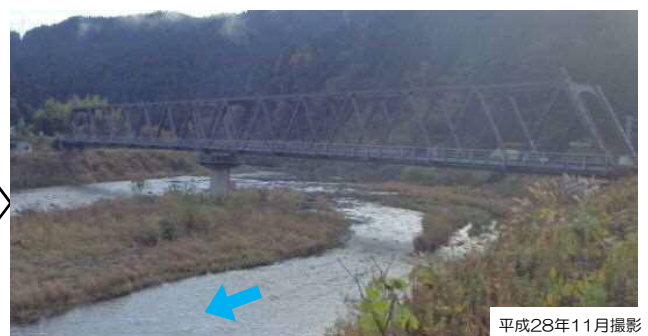
b 福井市小宇坂町



河川整備計画 進捗点検	No.01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P20~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 足羽川		
	内容	足羽川の河川整備 (福井市脇三ヶ町地先~小宇坂島地先までの約15,900m区間)		
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

② 整備時の配慮事項

- ・ 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、災害復旧助成事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- ・ 治水工事に合わせて、被災流失したJR越美北線の鉄道橋の復旧を行った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市脇三ヶ町 ～小宇坂島	— —		
	H18 年度	H21 年度	H28 年度
			H38 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- ・ 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検		No.02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P23~24	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 荒川			
	内容	荒川の河川整備 (福井市東今泉町地先～永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) [河川改修] = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100 整備進捗率(%) [遊水地] = 施工済箇所数(箇所) ÷ 計画箇所数(箇所) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

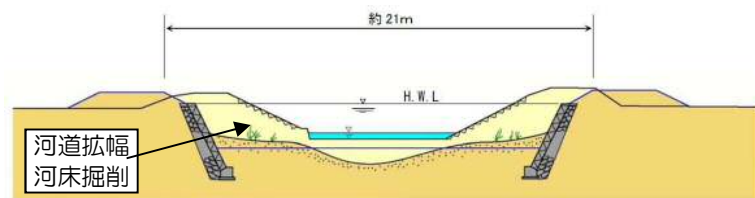
昭和35年度～平成45年度

【指標】

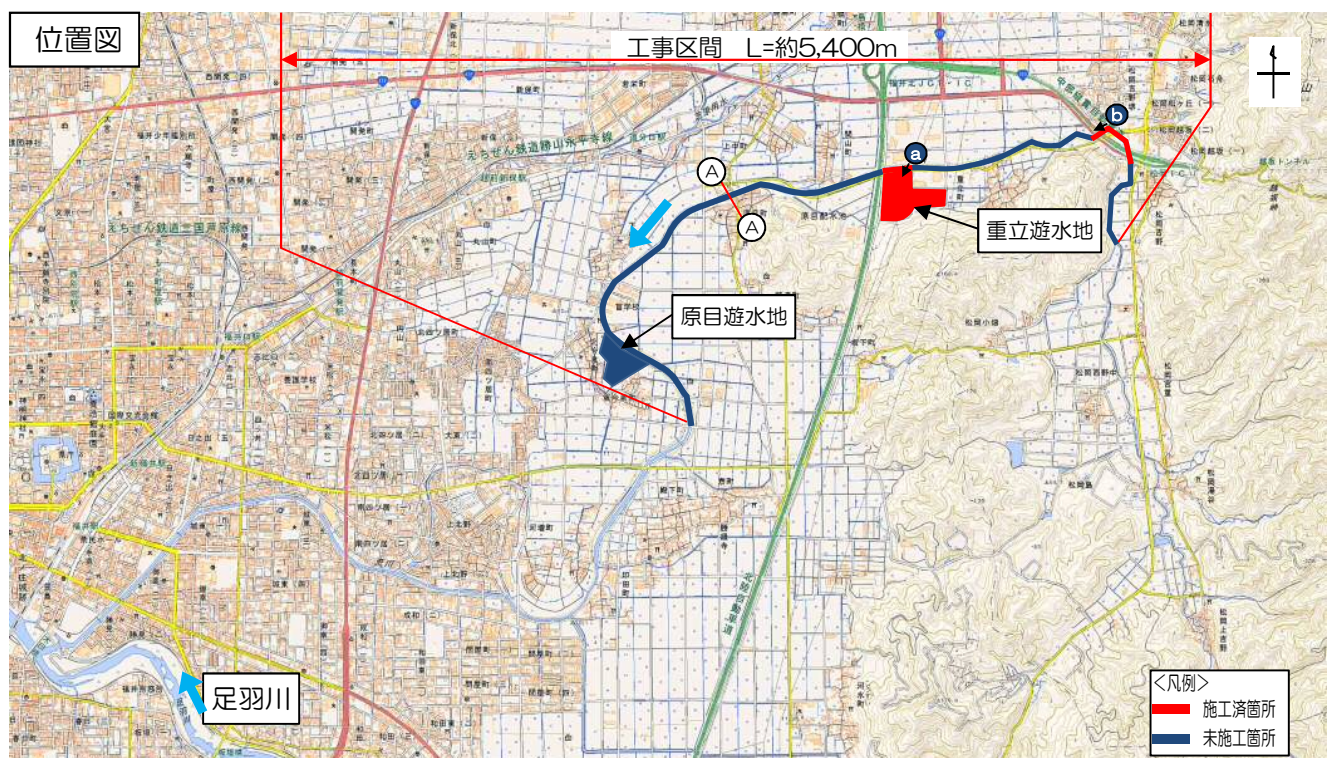
整備進捗率(%) [河川改修]
= 300(m) ÷ 5,400(m) × 100
= 6 %

整備進捗率(%) [遊水地]
= 1箇所 ÷ 2箇所 × 100
= 50 %

A-A 横断図



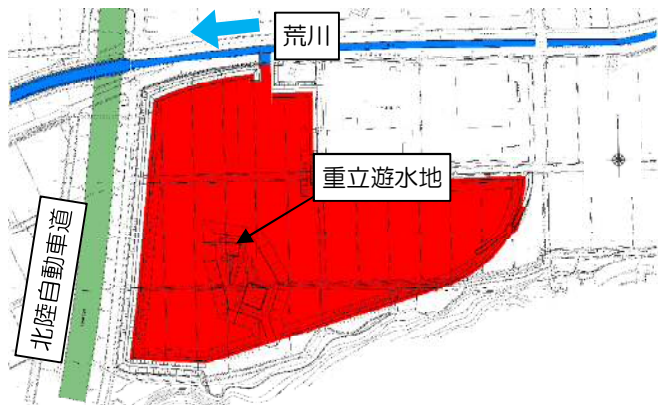
位置図



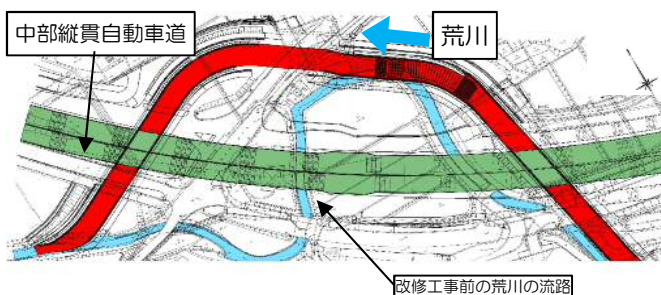
河川整備計画 進捗点検		No.02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P23~24	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 荒川			
	内容	荒川の河川整備 (福井市東今泉町地先～永平寺町松岡吉野地先までの約5,400m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) [河川改修] = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100 整備進捗率(%) [遊水地] = 施工済箇所数(箇所) ÷ 計画箇所数(箇所) × 100			

② 整備時の配慮事項

- ・ 下流域の治水安全度を早期に向上させるため、洪水時の流水を一時的に溜める重立遊水地を整備した。
- ・ 重立遊水地は、下流の流下能力を踏まえた運用をしており、常時湛水していることから、魚類や湿地性の植物等が生息・生育できる自然環境となっている。



- ・ 中部縦貫自動車道が渡河する区間については、道路整備と時期を合わせて河川改修工事を行った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市東今泉町 ～永平寺町松岡吉野	—————		
	H18 年度	H28 年度	H38 年度
			H45 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- ・ 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.03	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P25~26	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 一乗谷川			
	内容	一乗谷川の河川整備 (福井市安波賀町地先(足羽川合流点)~城戸ノ内町地先までの約900m区間) (福井市西新町地先~浄教寺町地先までの約2,300m区間)			
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

昭和63年度~平成30年度

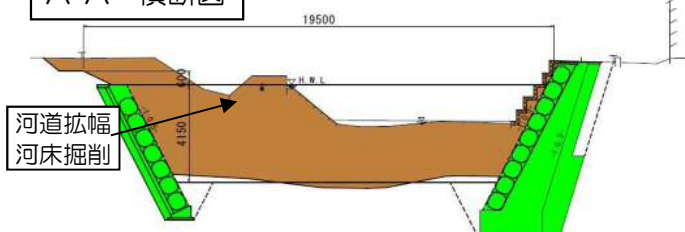
【指標】

整備進捗率 (%)

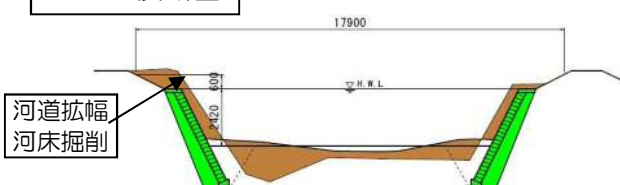
$$= 2,800(m) \div 3,200(m) \times 100$$

$$= 88 \quad \%$$

A-A 横断図



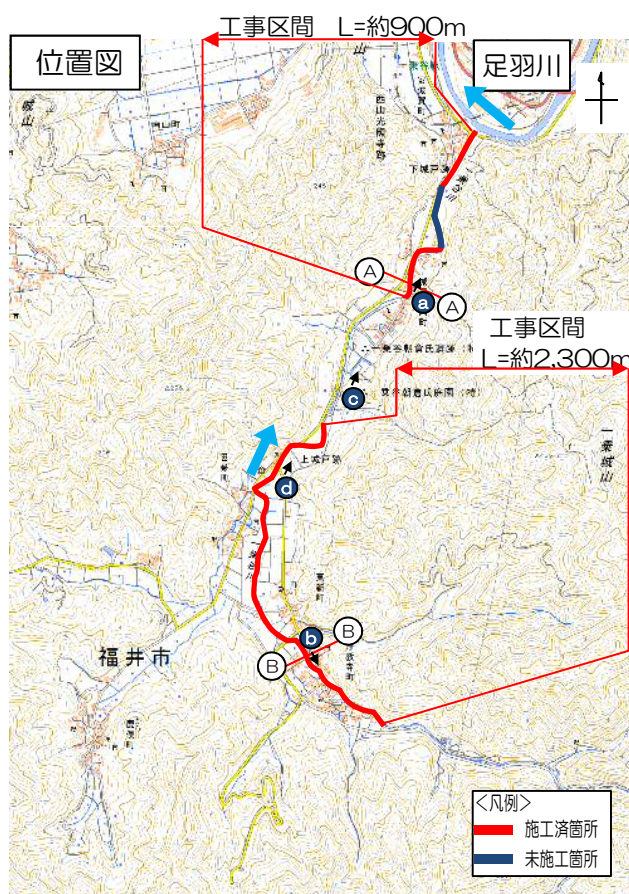
B-B 横断図



a 福井市城戸ノ内町



平成28年11月撮影



b 福井市浄教寺町



平成28年11月撮影

河川整備計画 進捗点検	No.03	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P25~26	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 一乗谷川		
	内容	一乗谷川の河川整備 (福井市安波賀町地先(足羽川合流点)~城戸ノ内町地先までの約900m区間) (福井市西新町地先~浄教寺町地先までの約2,300m区間)		
点検方法		① 河川整備の進捗状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

② 整備時の配慮事項

- ・平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、上流工区については、河川等災害関連事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- ・護岸工を自然石の乱積みとすることにより、「特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡」との調和を図った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年		
福井市安波賀町～城戸ノ内町					
福井市西新町～浄教寺町					
	H18 年度	H28 年度	H30 年度	H38 年度	H48 年度

点検結果の考察

- ・河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検		No.04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P16	P27~28	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 三万谷川			
	内容	三万谷川の河川整備 (福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流)~三万谷町地係までの約1,200m)			
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認			
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

① 河川整備の進捗状況

【工事期間】

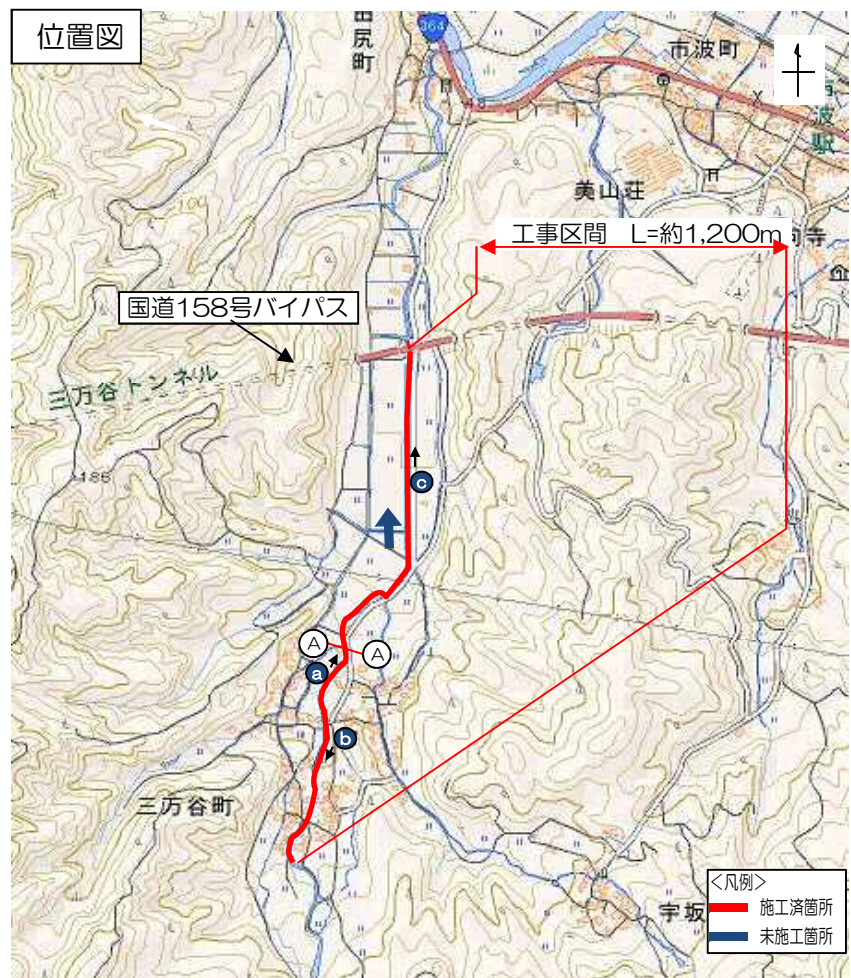
平成17年度～平成21年度

【指標】

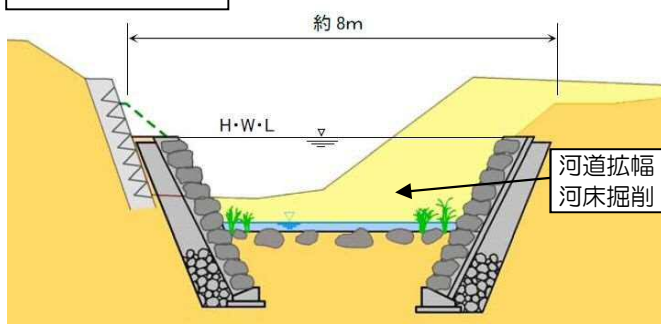
整備進捗率 (%)

$$= 1,200(m) \div 1,200(m) \times 100$$

$$= 100 \%$$



A-A 横断面図



a 福井市三万谷町



平成28年11月撮影

河川整備計画 進捗点検	No.04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P16	P27~28	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 三万谷川		
	内容	三万谷川の河川整備 (福井市三万谷町地先(国道158号バイパス直上流)~三万谷町地係までの約1,200m)		
点検方法		① 河川整備の状況の確認 ② 整備時の配慮事項の確認		
参考指標		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

② 整備時の配慮事項

- ・ 平成16年7月の福井豪雨による被災を受けたため、河川等災害関連事業により、河川改修工事の早期完了を図った。
- ・ 現地採取が可能な区間は、玉石で石積み護岸を施工し、周辺景観との調和を図った。



工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
福井市三万谷町			
	H18 年度	H21 年度	H28 年度
			H38 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- ・ 計画期間内に河川工事が完了した。

河川整備計画 進捗点検	No 05	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1) 河川管理施設の維持管理	
	内容	① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「河川管理施設の巡視」の実施状況

- ・ 河川巡視は、「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、ブロック内の管理河川（18河川、総延長129.770km）を対象に実施している。
- ・ 巡視は、全河川において「年1回以上」実施しており、これに加えて重要水防区域や水防警報河川については「出水期前に1回、出水期間中に月1回以上」実施している。

河川管理施設の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
堤防の状況	亀裂、沈下、法崩れ、漏水箇所の有無	異常があれば、写真撮影・測量し報告する
護岸の状況	亀裂、洗掘、陥没箇所の有無	
根固の状況	流失、破損箇所の有無	
構造物（取水堰等）の状況	亀裂、漏水、流失、洗掘の有無	
河状、流水の変化	河床の異常洗掘、みお筋の変化 土砂の堆積の状態はどうか 草木等が異常に繁茂していないか	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 草木が繁茂している場合は、除草する
親水施設の状況等	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
河川および排水の水質状況	特殊な汚濁色、油の流下、魚のへい死への対応 (油、へい死した魚の回収作業を含む)	発見した場合、写真撮影・報告する
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、 放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する 違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする
生態系の状況	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば、写真撮影・測量し報告する 危険がある場合、注意喚起する

足羽川（福井市西方1）

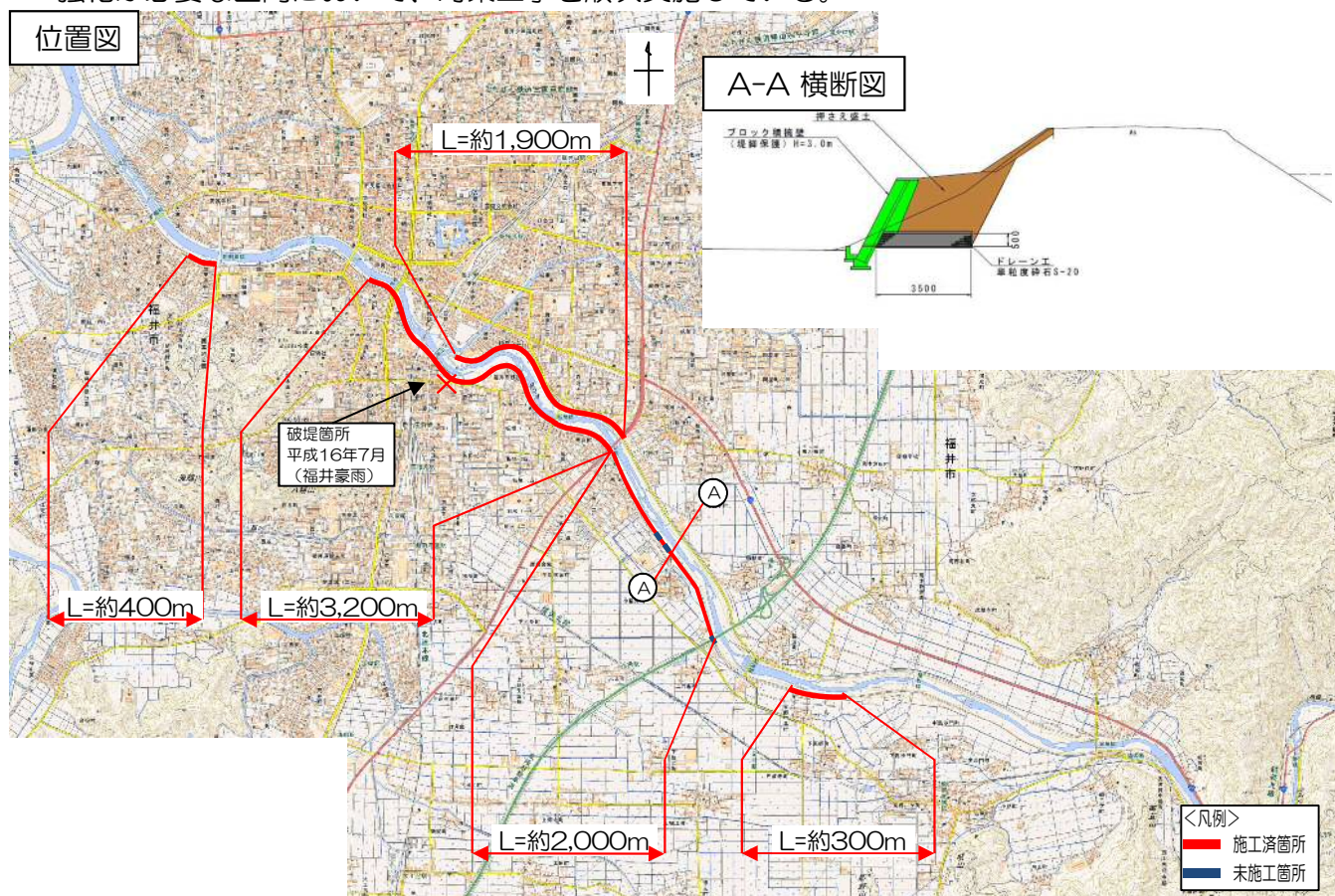


平成28年11月撮影

河川整備計画 進捗点検	No.05	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1) 河川管理施設の維持管理	
	内容	① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

② 「足羽川の堤防強化」の実施状況

- 破堤した場合に甚大な被害が想定される足羽川については、堤防の調査を行い、強化が必要な区間において、対策工事を順次実施している。



足羽川（福井市下馬）施行状況



河川整備計画 進捗点検		No.05	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1) 河川管理施設の維持管理		
	内容	① 河川管理施設の巡視状況 ② 足羽川の堤防強化 ③ 荒川排水機場、遊水地の点検		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

③ 「荒川排水機場」「遊水地の点検」の実施状況

- ・ 荒川排水機場においては、施設の機器について「月点検」と「年点検」を実施している。機器に異常が確認された場合は、修理を行うなど、良好な状態を維持している。
- ・ 遊水地については、河川巡視パトロールにより、流入口の状況等を確認している。

月点検項目（荒川排水機場）

名称	項目	内容
主ポンプ	計器類	零指示確認
	カップリングボルト、ゴムリング	締め具合、摩耗程度
	吐出電動弁	開閉動作確認
	全体	目視点検
原動機	潤滑油系統	油種および異常の有無、漏洩の有無
	冷却水系統	漏洩の有無
	計器類	零指示確認
	全体	目視点検
減速機	潤滑油系統	油種、漏洩の有無
	冷却水系統	漏洩の有無
	ゲージ類	零指示確認
	全体	目視点検
補機類	エンジン潤滑油ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	減速機潤滑油ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	燃料移送ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	井戸ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	冷却水ポンプ	電流測定、電圧測定、目視確認
	地下吸気ファン	電流測定、電圧測定、目視確認
	吐出ゲート	開閉動作確認、目視点検
除塵機	除塵機、ベルコン	電流測定、電圧測定、目視点検
自家発電機		回転数確認、電圧確認、周波数確認、目視点検
ポンプ場内		目視巡回点検
ポンプ場外		目視巡回点検

年点検項目（荒川排水機場）

名称	項目	内容
制御系配電盤	箱体の発錆、汚損扉の状態	目視点検
	盤内照明の点検	目視点検
	盤内外の清掃	清掃
	表示灯の確認	目視確認
	指示計の指示零点	零指示確認
	操作開閉器、切替	動作確認
	開閉器押釦の動作	動作確認
	配線遮断機の状態	目視確認
中央監視操作盤	表示ランプテスト	目視確認
	シーケンサチェック	目視確認
	警告表示故障表示	目視確認
	ベルの確認	聴覚確認
	確認釦作用	動作確認
	交流指示計の指示	動作確認
	直流指示計の指示	動作確認
	電力量計の指示	動作確認
	運転時間計の指示	目視確認
	記録計の状態	目視確認
入力電圧測定	測定	
保護リレーの状態	目視確認	
絶縁抵抗	測定	

月点検
(燃料移送ポンプ)



年点検
(中央監視操作盤)



点検結果の考察

- ・ 河川管理施設において、適切な維持管理が行われている。

河川整備計画 進捗点検	No.06	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2) 河道の維持管理	
	内容	① 堆積土砂の除去、樹木群の伐採 ② 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「堆積土砂の除去」「樹木群の伐採」の実施状況

- ・ 河川内の堆積土砂については、河積阻害状況等を考慮し、除去している。
- ・ 樹木群の伐採にあたっては、コスト縮減のため、住民に伐採木を無償提供している。

	H25	H26	H27
堆積土砂の除去量(m ³)	0	110	90

	H25	H26	H27
樹木群の伐採量(t)	2	30	59
無償提供(t)	0	10	19

堆積土砂の除去（荒川 永平寺町松岡吉野）



平成28年8月撮影



平成28年9月撮影

樹木群の伐採（足羽川 福井市西方）



平成27年12月撮影



平成28年3月撮影

② 「橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導」の実施状況

- ・ 河川工作物については、「河川管理施設等構造令」との適合性を審査するなど、河川管理に支障が生じないように指導を行っている。

（平成19年度～平成27年度の占用許可〔新規〕 橋梁29件、樋門2件、その他18件）

点検結果の考察

- ・ 河川内には、未だ堆積土砂や樹木があるため、今後計画的に土砂の除去や伐採を行っていく必要がある。

河川整備計画 進捗点検	No.07	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P16~17	P29~30
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「流域内の雨量や河川水位情報の提供」の実施状況

- ・ 足羽川ブロックにおいては、雨量観測所を8箇所、水位観測所を9箇所設置している。
（福井県全体 雨量観測所82箇所、水位観測所76箇所）
- ・ 雨量や河川水位等の河川情報については、「河川・砂防総合情報システム」により、地域住民にインターネットで提供している。

河川・砂防総合情報システム



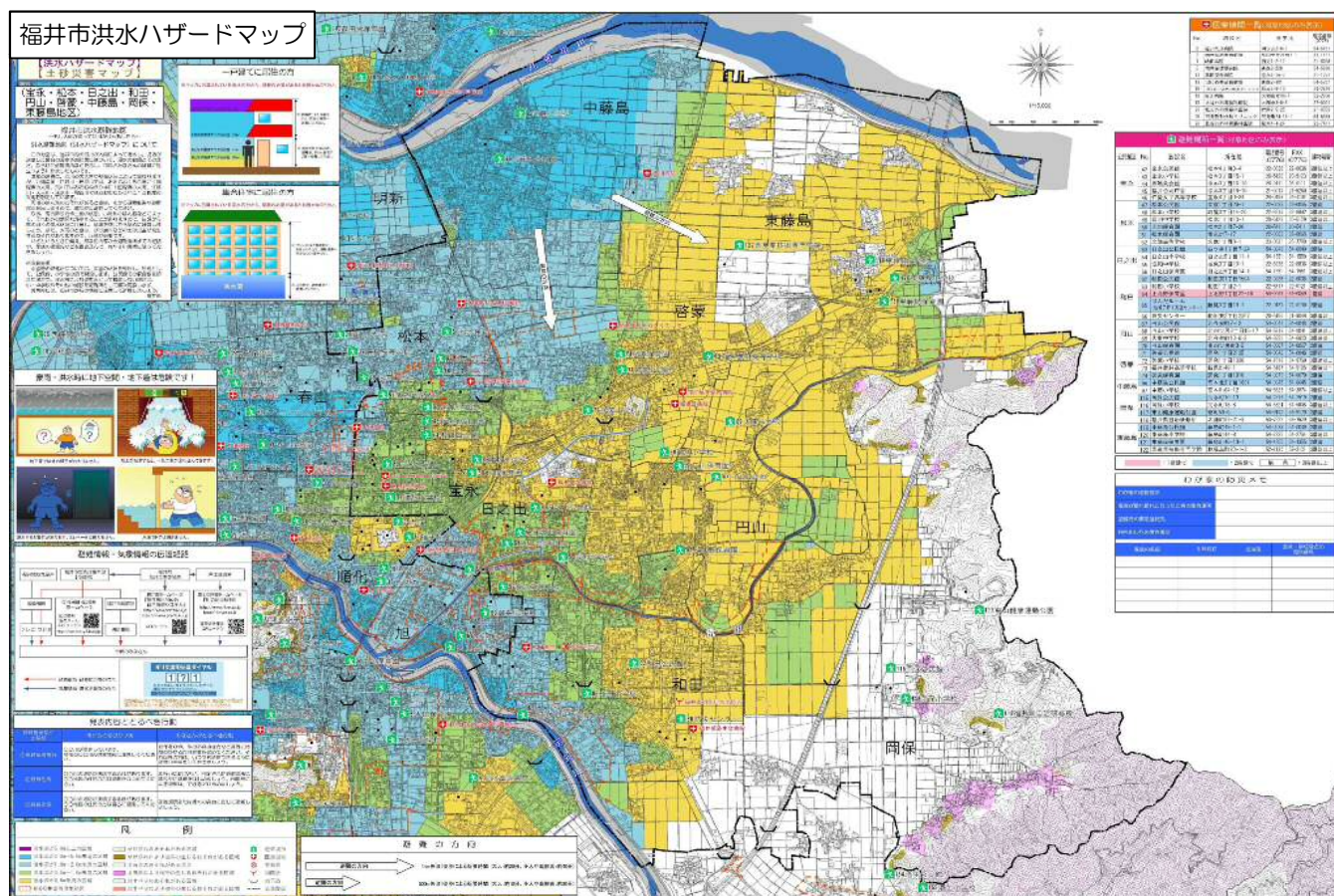
河川整備計画 進捗点検		No.07	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P16~17	P29~30
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実		
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

② 「浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成」の実施状況

- ・ 水位周知河川に指定されている足羽川と荒川について、浸水想定区域図を作成し、インターネットで公表している。
- ・ 足羽川と荒川について、関係市町の洪水ハザードマップが公表されている。

洪水ハザードマップの公表状況

作成市町	公表年月	対象河川
福井市	平成22年4月	足羽川、荒川
永平寺町	平成21年3月	荒川



点検結果の考察

- ・ 水害リスクに関する情報の提供ができています。

河川整備計画 進捗点検	No.08	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P30
記載事項	項目	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1) 水量の管理 (2) 許可工作物の設置等への対応	
	内容	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 濁水対応 ④ 占用工作物の監督	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「日常的な水量の把握」の実施状況

- ・ 次の水位観測所で水位を常時観測している。

水位観測所

河川名	観測所
足羽川	河内、稲荷、浅谷、荒川水門(足羽川水位)、九十九橋
荒川	原目、河増、荒川水門(荒川水位)
魚見川	新保

② 「慣行水利権の許可水利権への移行」の実施状況

- ・ 3件を慣行水利権から許可水利権に変更した。
(平成19年度：1件、平成21年度：2件)

③ 「濁水対応」の実施状況

- ・ 平成25年6月に少雨による濁水被害が懸念されたため、「福井県濁水対策連絡協議会」を設置し、農林水産部等に節水を要請した。

福井県濁水対策連絡協議会議 濁水対策メンバー

土木部	技幹
	道路建設課長
	砂防防災課帳
	都市計画課長
安全環境部	危機対策・防災課長
	健康福祉部
産業労働部	公営企業経営課長
農林水産部	水田農業経営課長
	園芸畜産課長
	水産課帳
	県産材活用課長
	農村振興課長

福井新聞 (H25.6.15)



④ 「占用工作物の監督」の指導状況

- ・ 計画策定以降、施設管理者に対して点検・修理等を指導した実績はない。

点検結果の考察

- ・ 河川が適正に利用されるよう、管理に努めている。

河川整備計画 進捗点検	No.09	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1) 水質の監視	
	内容	① 水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動 ② 水質事故等の発生時の対応 ③ 水質監視	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「水質に対する住民意識向上のための啓発活動・広報活動」の実施状況

- 水質に対する住民の意識を高めるために、1年に1回（12月頃）油流出防止について、新聞等に掲載し県民に注意を呼びかけている。

気を付けよう！

★油を流出させないで！

～暖房器具への給油が増える時期です～

- 給油中にその場を離れない
- 側溝や河川などに廃油を捨てない
- 万が一、油が漏れた時は、布でふき取り、水路などへの流出を防ぐ
- 敷地外へ油が流出した場合は、速やかに土木事務所や健康福祉センター、各市町へ連絡（平成27年12月1日 福井新聞掲載）

広報FUKUI (H27.12.10)

問合せ 環境課 20・5398

・燃料機器への給油中は、その場を離れない
・ボイラーやストーブ、農業機械などの貯油タンクや配管などを定期的に点検・整備する
・油が漏れたときは布などで拭き取り、水路などへの流出を防ぐ

近年、河川への油の流出事故が多発しています。油は河川の水質や生物に影響を及ぼす恐れがあるほか、河川の水を利用する上水道や農業などへの被害も心配されます。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

河川への油流出を
防ぎましょう

② 「水質事故等の発生時の対応」の実施状況

- 油流出は生じているが、「魚へい死」は確認されていない。
- 事故発生の際は、現地調査を実施し、原因者に被害拡大防止措置を指示している。

(単位：件)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
事故件数	1	0	1	0	0	0	0	0
油	0	0	1	0	0	0	0	0
魚へい死	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 「水質監視」の実施状況

- 以下の河川の箇所において、環境基準値（BOD75%値）が定められている。
- 観測値は、環境基準値の範囲内である。

(単位：mg/リットル)

	BOD 75%値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
足羽川(天神橋)	2 (A類型)	0.8	0.5	0.6	0.5未満	0.7	0.8	0.5未満
足羽川(水越橋)	2 (B類型)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.9	0.9	0.9
荒川上流(東今泉橋)	2 (A類型)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.5	1.6	1.2
荒川下流(水門)	2 (B類型)	1.3	1.3	1.2	1.2	1.3	1.6	1.1

点検結果の考察

- 適切な水質監視を行っている。

河川整備計画 進捗点検		No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全		
	内容	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策 ③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全）		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「魚道の整備」の実施状況

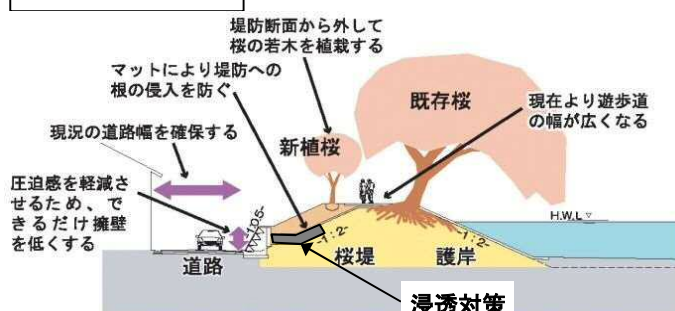
- ・ 足羽川の改修により河床が下がり、荒川の河口部において河床に段差が生じたため、魚道を整備した。
- ・ アユ（大型魚）やヨシノボリ（遊泳力が弱い）が遡上しやすいように、流速を低減する目的で粗石を配置した。



② 「足羽川の桜並木の保全対策」の実施状況

- ・ 福井豪雨災害後に実施した堤防の地質調査結果を基に、浸透流解析を実施し、堤体の安全性に問題があるところにおいて、ドレーン工の浸透対策を実施した。
- ・ 住宅側の桜を撤去し、堤防強化工事を行うとともに、桜の若木を植栽した。
- ・ 川表側の桜は、伐採による桜並木景観の見劣りを緩和させるため、枯れるまで残置することとした。

桜並木の保全対策図



工事後の桜並木（幸橋～桜橋）



河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	① 足羽川の魚道の整備 ② 足羽川の桜並木の保全対策 ③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全）	
点検方法		実施状況の確認	
参考指標		—	

③ 「その他、動植物の生息・生育環境の維持・保全」の実施状況

(1) 足羽川のみお筋の整備

- ・ 九十九橋からJR橋間の従来の河床は、平坦で変化の乏しい水域であったため、流れや水際に変化を持たせる工夫として「みお筋」を設置した。

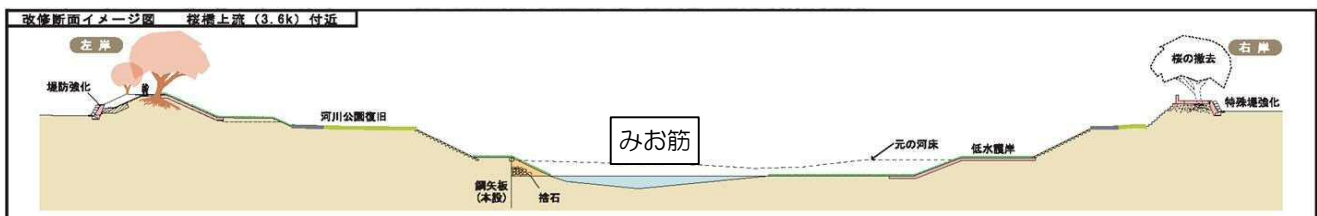
足羽川（桜橋下流）



平成16年11月撮影



平成27年8月撮影



(2) 足羽川のワンドの整備

- ・ 魚や昆虫類の生息空間となる環境の確保を図るため、護岸の前に根固めブロックを設置し、河川改修前からあった止水域（ワンド）を再生した。現在では、様々な植物が繁茂している。

足羽川（木田橋上流）



平成27年8月撮影

点検結果の考察

- ・ 足羽川において、河川改修に伴い改変される既存の河川環境について、保全・再生に向けた様々な対策が実施されている。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市大瀬町～板垣）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

1-1 調査概要

- ・ 動植物に関する調査を、次の通り実施した。

調査項目	調査内容	着工前調査	完成後調査
植物	目視観察による植生調査	平成14年11～12月	平成28年11月
魚類	投網、タモ網による捕獲	平成14年5月,8月,9月,11月	平成28年10月
底生動物	コドラート法による定量調査	平成 4年5月、10月	平成28年10月



河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市大瀬町～板垣）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

1-2 植生調査結果

基本群落	群落名等	着工前調査	完成後調査	備考
		平成14年11.12月	平成28年11月	
一年生草本群落	ミソソバ群落	●		
	オオイヌタデ群落		●	
	メヒシパーエノコログサ群落	●		
	オオブタクサ群落（※2）	●	●	総合対策外来種
	アレチウリ群落（※1）		●	特定外来種
	カナムグラ群落		●	
多年生広葉草本群落	セイヨウカラシナ群落（※2）	●		総合対策外来種
	ヨモギーメドハギ群落	●	●	
	イタドリ群落	●		
	カラムシ群落	●	●	
	セイトカアワダチソウ群落（※2）	●	●	重点対策外来種
単子葉草本群落	ヨシ群落	●	●	
	ツルヨシ群落	●	●	
	オギ群落	●	●	
	ウキヤガラマコモ群落	●		
	ヒメガマ群落	●		
	ミクリ群落（※3）	●		県危惧Ⅱ
	メリケンカルカヤ群落（※2）		●	総合対策外来種
	オニウシノケグサ群落（※2）	●		産業管理外来種
	シバ群落	●		
	ススキ群落	●	●	
	チガヤ群落		●	
ヤナギ林	カワヤナギ群落	●	●	
	コゴメヤナギ群落		●	
	タチヤナギ群落		●	
	マルバヤナギ群落		●	
	その他の低木林		●	
植林地（その他）	メダケ群落	●		
	クズ群落		●	
	植栽樹林群落	●	●	
		20	19	



※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種を主体とする群落
 ※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種を主体とする群落
 ※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種を主体とする群落

点検結果の考察

- ・ 特定外来種である「アレチウリ」を主体とする群落が、新たに確認された。
- ・ 「生態系被害防止外来種リスト」の掲載種である「セイヨウカラシナ」「オニウシノケグサ」を主体とする群落は、今回植生調査で確認されなかった。

河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市大瀬町～板垣）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

1-3 魚類調査結果

目名	科名	種名	着工前調査		完成後調査		備考
			平成14年5,8,9,11月		平成28年10月		
			確認種	個体数	確認種	個体数	
コイ	コイ	コイ	●	不明			
		ギンブナ	●				
		タイリクバラタナゴ（※2）	●		●	1	総合対策外来種
		オイカワ	●		●	1	
		アブラハヤ	●				
		ウグイ	●		●	51	
		モツゴ	●				
		タモロコ	●		●	1	
		カマツカ	●		●	2	
		ニゴイ	●	●	27		
ナマズ	ナマズ	ナマズ		●	1		
サケ	アユ	アユ	●				
カサゴ	カジカ	カジカ中卵型（※3）		●	4	県危惧Ⅱ	
スズキ	ドンコ	ドンコ		●	2		
		ハゼ	ウキゴリ	●	●	2	
		マハゼ		●	2		
		シマヨシノボリ		●	4		
		ヌマチチブ		●	8		
5 目	6 科	18 種	11 種		13 種	106 個	

※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種

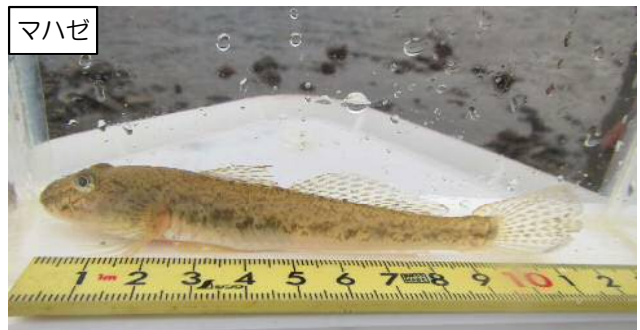
※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種

※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種

カジカ中卵型



マハゼ



点検結果の考察

- ・ 「生態系被害防止外来種リスト」の掲載種である「タイリクバラタナゴ」が着工前調査と完成後調査で確認された。
- ・ 「福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種である「カジカ中卵型」が新たに確認された。
- ・ 汽水域に生息する「マハゼ」が確認された。

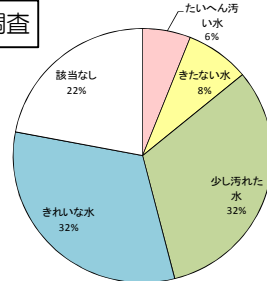
河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他 (動植物の生息・生育環境の維持・保全) 足羽川 (福井市大瀬町~板垣) の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果 (植生、魚類、底生動物) の確認	
参考指標		-	

1-4 底生動物調査結果

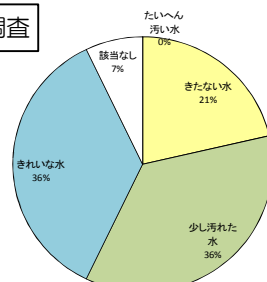
門名	綱名	目名	科名	種名	着工前調査 平成4年5月10日		完成後調査 平成28年10月		生物学的 水質階級
					確認種	個体数	確認種	個体数	
扁形動物	渦虫	ウズムシ	ウズムシ	ナミウズムシ	●	●	●	0	os
軟体動物	腹足	基盤	サカマキガイ	サカマキガイ	●	●	●	0	ps
環形動物	ミミズ	イトミミズ	イトミミズ	イトミミズ科	●	●	●	0	ps
				ミズミミズ	●	●	●	0	αm
節足動物	ヒル	物蛭(ウオビル)	ヒラタビル	ヒラタビル科の一種	●	●	●	0	αm
		軟甲	ヨコエビ	ヨコエビ	ニホンヨコエビ	●	●	●	0
		ワラジムシ	コツブムシ	イソコツブムシ	●	●	●	0	αm
			ミズムシ	ミズムシ	●	●	●	1	αm
		エビ	ヌマエビ	ヌマエビ	●	●	●	0	αm
		昆虫	カゲロウ	カゲロウ	カゲロウ科の一種	●	●	●	0
				コホコカゲロウ	●	●	●	0	βm
				チラカゲロウ	●	●	●	1	βm
				シロタニカゲロウ	●	●	●	57	os
				エルモンヒラタカゲロウ	●	●	●	5	os
				ヒメヒラタカゲロウ	●	●	●	1	βm
				トビイロカゲロウ	●	●	●	0	os
				モンカゲロウ	●	●	●	0	os
				フタスジモンカゲロウ	●	●	●	0	os
				トウヨウモンカゲロウ	●	●	●	0	βm
				モンカゲロウ	●	●	●	0	βm
				カワカゲロウ	●	●	●	5	βm
				マダラカゲロウ	●	●	●	22	βm
				カワマダラカゲロウ	●	●	●	0	os
				ワタマダラカゲロウ	●	●	●	0	os
				ヨシノマダラカゲロウ	●	●	●	0	os
				ミツクマダラカゲロウ	●	●	●	0	βm
				エラブタマダラカゲロウ	●	●	●	0	βm
				トンボ	カワトンボ	ハゴロトンボ	●	●	●
				サナエトンボ	●	●	●	0	βm
				カワゲラ	カワゲラ	カミムカワゲラ	●	●	●
				オオヤマガワゲラ	●	●	●	0	os
				トビケラ	キタガミトビケラ	キタガミトビケラ	●	●	●
				ヤマトビケラ	●	●	●	0	os
				ナガレトビケラ	●	●	●	0	os
				ヒゲナガカワトビケラ	●	●	●	0	βm
				シマトビケラ	●	●	●	0	βm
				チャバネヒゲナガカワトビケラ	●	●	●	0	os
				コガタシマトビケラ	●	●	●	0	βm
				ギフシマトビケラ	●	●	●	0	βm
				ワルマシマトビケラ	●	●	●	0	os
				シマトビケラ科の一種	●	●	●	6	os
				ニンギョウトビケラ	●	●	●	0	βm
				ケトビケラ	●	●	●	0	βm
				ハエ	ガガンボ	Amiboda属の一種	●	●	●
				Enocera属の一種	●	●	●	0	os
				ユスリカ	ユスリカ科	ユスリカ科	●	●	●
				ユスリカ科	●	●	●	0	βm
				ユスリカ科	●	●	●	0	βm
				ユスリカ科	●	●	●	0	ps
				ユスリカ科	●	●	●	0	os
				アシマダラブコ	●	●	●	5	os
				コウチュウ	ヒラタドトムシ	ヒラタドトムシ	●	●	●
				マルヒラタドトムシ	●	●	●	0	βm
				ヒメドトムシ	●	●	●	0	βm
4門	6綱	13目	30科	55種	50種	14種	117個		

生物学的な水質階級による確認種の評価

着工前調査

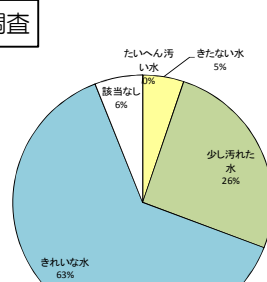


完成後調査



生物学的な水質階級による個体数の評価

完成後調査



生物学的 水質階級	略語	水質	平成4年5月10日		平成28年10月	
			確認種	個体数	確認種	個体数
強腐水性	ps	たいへん汚い水	3	0	0	0
α-中腐水性	αm	きたない水	4	3	3	6
β-中腐水性	βm	少々汚れた水	16	5	5	30
貧腐水性	os	きれいな水	16	5	5	74
該当なし		該当なし	11	1	1	7
計			50種		14種	117個

※生物学的な水質階級は、「生物モニタリングの考え方 指標生物学」(山海堂、1985年)による

点検結果の考察

- ・ 着工前調査と完成後調査で確認された種類数が、減少している。
- ・ 生物学的な水質階級による確認種の比較をすると、「たいへん汚い水」「きたない水」に生息する個体の種類の割合が増加している。
- ・ 生物学的な水質階級による確認種を個体数で乗じた割合は、「きれいな水」に生息する個体が全体の約6割を占める。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市脇三ヶ町～小宇坂島）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

2-1 調査概要

- ・ 動植物に関する調査を、次の通り実施した。

調査項目	調査内容	着工前調査	完成後調査
植物	目視観察による植生調査	平成14年11～12月	平成28年11月
魚類	投網、夕モ網による捕獲	平成14年5月,8月,9月,11月	平成24年10月, 平成28年10月
底生動物	コドラート法による定量調査	平成 4年5月、10月	平成28年10月



河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市脇三ヶ町～小宇坂島）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

2-2 植生調査結果

基本群落	群落名等	着工前調査	完成後調査	備考
		平成14年11,12月	平成28年11月	
一年生草本群落	ミゾソバ群落		●	
	オオブタクサ群落（※2）		●	総合対策外来種
	カナムグラ群落		●	
多年生広葉草本群落	カゼクスーオオバコ群落	●		
単葉草本群落	ツルヨシ群落	●	●	
	オギ群落	●	●	
	ミクリ群落（※3）	●		県危惧Ⅱ
	ススキ群落	●		
ヤナギ林	カワヤナギ群落	●	●	
	ネコヤナギ群落	●	●	
	タチヤナギ群落		●	
その他の低木林	クズ群落		●	
	チマキザサ群落	●		
常緑広葉樹林	アラカシ群落		●	
植林地（スギ・ヒノキ）	スギ植林	●	●	
植林地（竹林）	モウソウチク群落（※2）	●		産業管理外来種
	マダケ群落	●		
		11	11	



- ※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種を主体とする群落
 ※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種を主体とする群落
 ※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種を主体とする群落

点検結果の考察

- ・「生態系被害防止外来種リスト」の掲載種である「オオブタクサ」を主体とする群落が、新たに確認された。
- ・「福井県の絶滅の恐れのある野生動植物」の掲載種である「ミクリ」を主体とする群落が、完成後調査で確認されなかった。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市脇三ヶ町～小宇坂島）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

2-3 魚類調査結果

目名	科名	種名	着工前調査		完成後調査		備考	
			平成14年5,8,9,11月		平成28年10月			
			確認種	個体数	捕獲種	個体数		
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ（※3）	●	不明			県危惧Ⅱ	
コイ	コイ	オイカワ			●	5		
		カワムツ	●		●	75		
		アブラハヤ	●		●	45		
		ウグイ	●		●	7		
		カマツカ			●	2		
		ニゴイ						
ドジョウ	ドジョウ	アジメドジョウ（※3）	●		●	2		県危惧Ⅱ
		ニシシマドジョウ	●					
ナマズ	アカザ	アカザ	●					
サケ	アユ	アユ	●					
	サケ	サクラマス（ヤマメ）	●					
スズキ	ドンコ	ドンコ	●			●	1	
	ハゼ	シマヨシノボリ						
5目	8科	14種	10種		7種	137個		

※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種

※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種

※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種



点検結果の考察

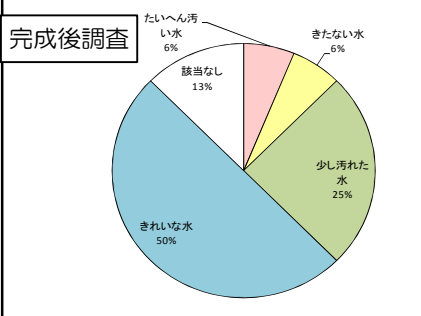
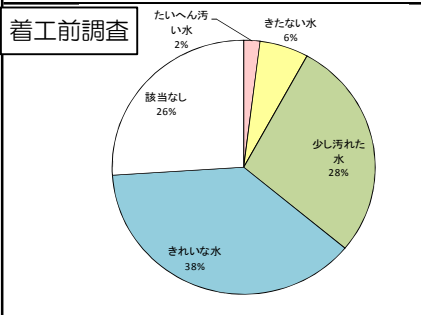
- ・「福井県の絶滅の恐れのある野生動植物」の掲載種である「スナヤツメ」が確認されなかった。
- ・「福井県の絶滅の恐れのある野生動植物」の掲載種である「アジメドジョウ」が着工前調査と完成後調査で確認された。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 足羽川（福井市脇三ヶ町～小宇坂島）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

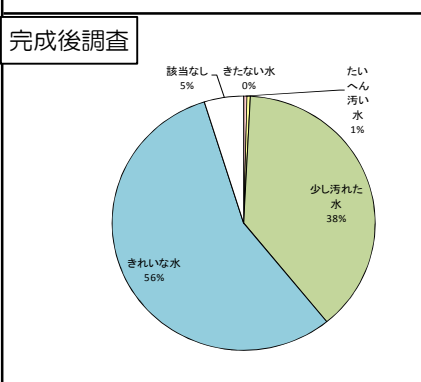
2-4 底生動物調査結果

門名	綱名	目名	科名	種名	着工前調査 平成4年5月,10月		完成後調査 平成28年10月		生物学的 水質階級
					確認種	個体数	確認種	個体数	
環形動物	渦虫	ウズムシ	ウズムシ	ナミウズムシ	●		●		os
		マルスダレガイ	シシミ	マシジミ	●		●		βm
軟体動物	ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	イトミミズ科	●	1	●	1	ps
		ヒル	ヒラタビル	ヒラタビル科の一種	●	1	●	1	αm
節足動物	軟甲	エビ	スマエビ	スマエビ	●		●		αm
		ヨコエビ	ヨコエビ	ニホンヨコエビ	●		●		os
昆虫	カゲロウ	カゲロウ	カゲロウ	フタバカゲロウ属	●	9	●	9	βm
				フタバカゲロウ	●		●		os
				コカゲロウ属の一種	●		●		βm
				トビイロコカゲロウ	●		●		βm
				チラカゲロウ	●		●		os
				ヒラタカゲロウ	●		●		os
				キブネタニカワカゲロウ	●	3	●	3	os
				クロタニガワカゲロウ	●	2	●	2	os
				シロタニガワカゲロウ	●	8	●	8	os
				コモンヒラタカゲロウ	●		●		os
				エルモンヒラタカゲロウ	●	13	●	13	os
				トビイロカゲロウ	●	1	●	1	os
				カタスシモンカゲロウ	●	1	●	1	os
				モンカゲロウ	●		●		βm
				カイロカワカゲロウ	●		●		βm
				アカマダラカゲロウ	●		●		βm
				クロマダラカゲロウ	●	48	●	48	os
				ヨシノマダラカゲロウ	●		●		os
				ミツツグマダラカゲロウ	●		●		βm
				ミヤマカワトンボ	●		●		os
トンボ	カワトンボ	カワトンボ	カワトンボ	ダビドサナエ	●		●		βm
				オナガサナエ	●		●		βm
				ギンヤンマ	●		●		βm
				エソトンボ	●		●		βm
カワグサ	カワグサ	カワグサ	カワグサ	シオカラトンボ	●		●		αm
				カミムラカワグサ	●		●		βm
				フタツメカワグサ属の一種	●		●		βm
				オオヤマカワグサ	●	2	●	2	os
ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヘビトンボ	オオヤマカワグサ属の一種	●		●		os
				スズキクラカケカワグサ	●		●		os
				ヘビトンボ	●		●		os
				ヒメゲンゴロウ亜科	●		●		os
トビケラ	トビケラ	トビケラ	トビケラ	シマトビケラ	●	109	●	109	os
				カルマシマトビケラ	●		●		βm
				キフシマトビケラ	●		●		βm
				ヒゲナガカワトビケラ	●	33	●	33	βm
				チャバネヒゲナガカワトビケラ	●		●		os
				ムナグロナガレトビケラ	●		●		os
				ヤマカナガレトビケラ	●		●		os
				コヤマトビケラ属の一種	●		●		os
				ヤマトビケラ属の一種	●		●		os
				オガレトビケラ	●		●		os
クダトビケラ	●		●		βm				
ハエ	ハエ	ハエ	ハエ	ウスバヒメガガンボ亜科	●	4	●	4	βm
				ユスリカ	●		●		βm
				ユスリカ亜科	●	8	●	8	βm
				エリユスリカ亜科	●		●		βm
コウチュウ	コウチュウ	コウチュウ	コウチュウ	モンユスリカ亜科	●		●		βm
				ヒメドロムシ	●		●		βm
				Antocha属の一種	●		●		βm
				Ericocera属の一種	●		●		βm
ヒラタドロムシ	●	5	●	5	βm				
ヒラタドロムシ	●		●		βm				
4門	6綱	14目	31科	57種	50種	16種	248個		

生物学的的水質階級による確認種の評価



生物学的的水質階級による個体数の評価



生物学的 水質階級	略語	水質	平成4年5月,10月		平成28年10月	
			確認種	個体数	確認種	個体数
強腐水性	ps	たいへん汚い水	1		1	1
α-中腐水性	αm	きたない水	3		1	1
β-中腐水性	βm	少し汚れた水	14		4	95
貧腐水性	os	きれいな水	19		8	139
該当なし		該当なし	13		2	12
計			50種		16種	248個

※生物学的的水質階級は、「生物モニタリングの考え方 指標生物学」(山海堂, 1985年)による

点検結果の考察

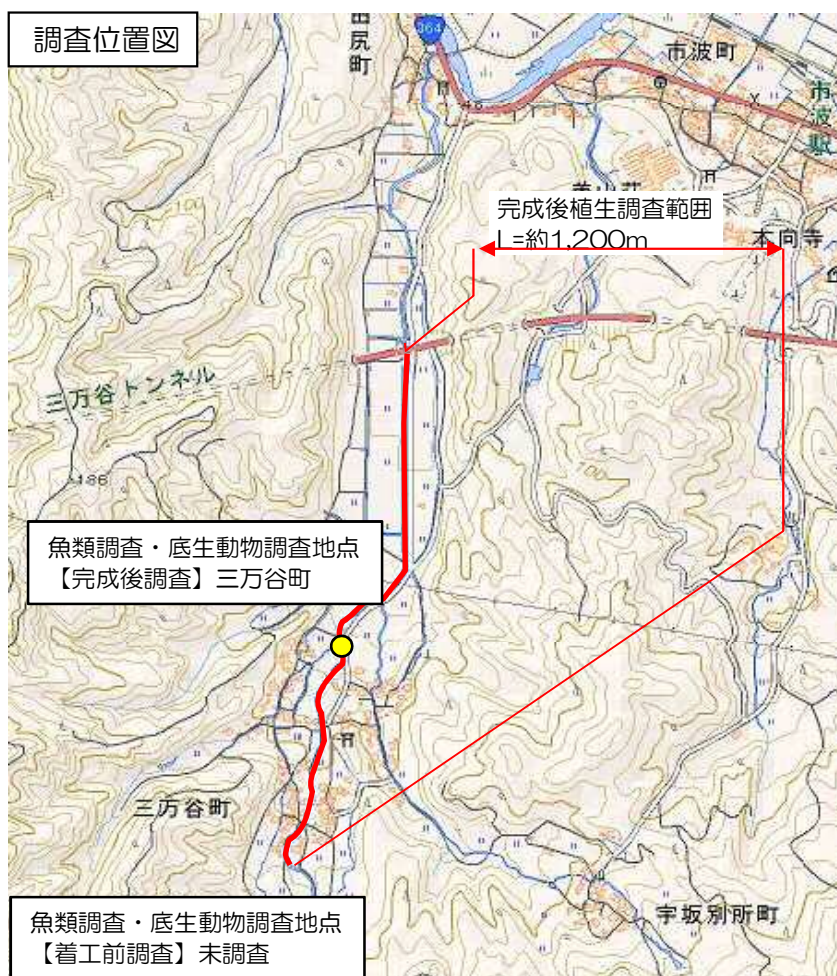
- ・ 着工前調査と完成後調査で確認された種類数が、減少している。
- ・ 生物学的的水質階級による確認種の比較をすると、「たいへん汚い水」「きたない水」に生息する個体の種類の割合は変わらない。
- ・ 生物学的的水質階級による確認種を個体数で乗じた割合は、「きれいな水」に生息する個体が全体の約6割を占める。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 三万谷川（福井市三万谷町）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

3-1 調査概要

- ・ 動植物に関する調査を、次の通り実施した。

調査項目	調査内容	着工前調査	完成後調査
植物	目視観察による植生調査	未調査	平成28年10月
魚類	投網、夕モ網による捕獲	未調査	平成28年10月
底生動物	コドラート法による定量調査	未調査	平成28年11月



河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 三万谷川（福井市三万谷町）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）	
参考指標		—	

3-2 植生調査結果

基本群落	群落名等	着工前調査	完成後調査	備考
		未調査	平成28年10月	
一年生草本群落	ミゾソバ群落		●	
単子葉草本群落	ツルヨシ群落		●	
			2	

- ※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種を主体とする群落
 ※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種を主体とする群落
 ※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種を主体とする群落

3-3 魚類調査結果

目名	科名	種名	着工前調査		完成後調査		備考
			未調査				
			確認種	個体数	確認種	個体数	
カサゴ	カジカ	カジカ		不明	●	42	
1 目	1 科	1 種			1 種	42 個	

- ※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種
 ※2 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」の掲載種
 ※3 「【改訂版】福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」の掲載種



点検結果の考察

- ・ 「生態系被害防止外来種リスト」の掲載種は、植生調査および魚類調査で確認されなかった。
- ・ 植生調査で「ミゾソバ群落」と「ツルヨシ群落」が確認された。
- ・ 魚類調査で「カジカ」が確認された。

河川整備計画 進捗点検	No.10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	③ その他（動植物の生息・生育環境の維持・保全） 三万谷川（福井市三万谷町）の河川整備前後における環境変化	
点検方法		生物調査結果（植生、魚類、底生動物）の確認	
参考指標		—	

3-4 底生動物調査結果

門名	綱名	目名	科名	種名	着工前調査		完成後調査		生物学的 水質階級
					調査実績なし 確認種	個体数	平成28年10月 確認種	個体数	
環形動物	ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	イトミミズ			●	6	ps
	ヒル	蜘蛛(ウオビル)	ヒラタビル	ヒラタビル科の一種			●	5	αm
節足動物	軟甲	エビ	サワガニ	サワガニ			●	2	os
		カゲロウ	コカゲロウ	フタバカゲロウ			●	3	βm
				ヒラタカゲロウ			●	1	os
				キブネタニガワカゲロウ			●	1	os
				クロタニガワカゲロウ			●	1	os
				シロタニガワカゲロウ			●	34	os
				エルモンヒラタカゲロウ			●	3	os
				トビドロカゲロウ			●	2	os
				トビドロカゲロウ			●	2	os
				モンカゲロウ			●	2	os
				フタスジモンカゲロウ			●	2	os
				マダラカゲロウ			●	12	βm
				チカマダラカゲロウ			●	1	os
				カワクラ			●	1	os
				シマトビケラ			●	75	os
				ヒゲナガカウトビケラ			●	70	βm
				ガガンボ			●	8	os
				ユスリカ			●	13	os
				ヒラタドムシ			●	1	βm
2門	4綱	8目	14科	17種			17種	239個	

生物学的 水質階級	略語	水質	調査実績なし		平成28年10月	
			確認種	個体数	確認種	個体数
強腐水性	ps	たいへん汚い水			1	6
α-中腐水性	αm	きたない水			1	5
β-中腐水性	βm	少し汚れた水			4	86
貧腐水性	os	きれいな水			9	121
該当なし		該当なし			2	21
計					17種	239個

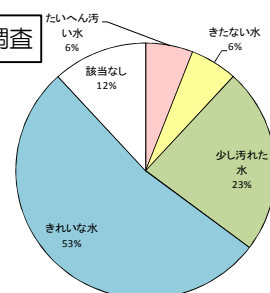
※生物学的の水質階級は、「生物モニタリングの考え方 指標生物学」(山海堂、1985年)による

生物学的の水質階級による確認種の評価

着工前調査

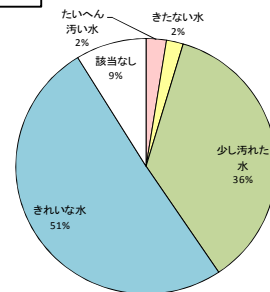
調査実績なし

完成後調査



生物学的の水質階級による個体数の評価

完成後調査



点検結果の考察

- 生物学的の水質階級による確認種を個体数で乗じた割合は、「きれいな水」に生息する個体が全体の約5割を占める。

河川整備計画 進捗点検	No.11	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P17	P31
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (3) 河川空間の適切な利用	
	内容	① オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策	
点検方法		利用状況、実施状況の確認	
参考指標		—	

① 「オープンスペースとしての高水敷部の利用状況や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用」状況

- ・ まちなかの足羽川水辺空間において、各種団体と連携を図り、様々なイベントを開催している。

春のリバーサイドパフォーマンス
幸橋下流左岸（福井市毛矢2）



平成28年4月撮影

エコキャンドル
木田橋上流左岸（福井市春日1）



平成28年7月撮影

毛矢の線舟
九十九橋上流（福井市つくも1）



平成28年4月撮影

アユの稚魚放流
板垣橋下流右岸（福井市勝見2）



平成28年10月撮影

② 「河川内の不法投棄を防ぐための対策」の実施状況

- ・ 福井県河川パトロール実施要領に基づき、河川巡視を実施している。

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	着工前調査
ゴミ投棄	・ 河川区域へのゴミ投棄、放置車両がないか	・ 発見した場合、写真撮影・回収する違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする。

点検結果の考察

- ・ 河川敷がイベント等で活用されている。
- ・ 不法投棄を減らすための対応が講じられている。

河川整備計画 進捗点検		No.12	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P17	P32
記載事項	項目	5.3.1 地域住民との協働		
	内容	① 住民参加による河川美化活動		
点検方法		実施状況の確認		
参考指標		—		

① 「住民参加による河川美化活動」の実施状況

- ・ 毎年、住民や企業・団体等が、河川の草刈りや清掃活動に参加している。

（単位：人）

	H23	H24	H25	H26	H27
草刈り	2,300	2,200	2,100	2,200	2,000
清掃活動	1,000	2,300	2,600	3,000	2,800
合計	3,300	4,500	4,700	5,200	4,800



点検結果の考察

- ・ 地域住民との協働による河川美化活動が定着している。